

それを謝りに参ったのが、ここに立つ理由の一つです。また、五四年に再び能代高校に帰ってきてからは、年相応に慎重に行動し、授業の充実を心がけたつもりではおりますが、退職間際は年のせいとか、やたらに怒鳴りつけるばかりの授業でした。それもこの席をお借りしまして、深くお詫び申し上げたいと思っております。お話ししたいことは沢山ありますが、時間に限りもさせていただきます。本日は、過分なご招待、誠にありがとうございました。

浅野洋一先生



私は、能代高校の職員でもありませんが、旧制十九期、小林会長とは同期の卒業でもございます。会長のほかに、数名同期の懐かしい顔があちこちに見られまして、本当にうれしく思っております。

鷹巣農林・鷹巣高校の教師を経て、私は能代高校では昭和四四年から五七年の十三年間、教壇に立たせて頂きました。昭和四四年はまだ樽子山に当時オンポロの校舎がございまして、そこに赴任いたしました。校舎はオンポロでございましたが、生徒は純朴、当時のあの牧歌的な教室風景が今でも懐かしく思い出されます。

その後五七年四月に二ツ井高校に転任、金足農業・能代北校の教頭を歴任、平成三年三月小坂高校の校長として退職いたしました。

私は音楽の担当でございましたが、一中や二

中、東雲中などから借り集めた楽器による定期演奏会、秋深く高橋校舎への移転、雪に埋もれる悪路と雪だるまによる生徒のいたずらなどなど、思えば語り合ひ、思い出にふけりたいことは数々ございますが、私がここで独りよがりの感慨にふけてみましても、なにやらみなさんを白けさせても申し訳ありません。

このような一段高い所からではなく、みなさんと同じ同窓生として、みなさんの渦の仲間入りをさせて頂いて、みなさんと顔を突き合わせ、当時の思い出を語り合ひたいと存じますので、ここからの挨拶はこのへんで終わらせて頂きたいと思えます。

本日は、かくも盛大な東京同窓会にお招きを頂きまして誠にありがとうございました。

司会：先ほど会長からご紹介もありましたが、本日は市内の各高校の同窓会の代表の方々にご来臨を頂いております。能代北高校松蔭会東京支部のみなさん、能代工業高校同窓会東京支部である東籟会のみなさん、能代商業高校同窓会東京支部のみなさん、能代農業高校同窓会東京支部のみなさんが、それぞれお見えでございます。本日はわざわざお越し頂きまして誠にありがとうございました。

格別なおもてなしも趣向もございませんが、後ほど、本日はわざわざ能代から駆けつけて頂きました藤田康隆さんと、北高校ご出身の音楽家佐藤優子さんのアトラクション、そのほか山本町のご好意による、郷里の味と香りが当たる抽選会も準備してございます。どうか、普段はなかなか使えない古里のなまりを存分に吐き出して、心ゆくまでご歓談をお楽しみの上、ごゆっくりとおくつろぎください。

飯坂勝美氏（新制二期） 逝去

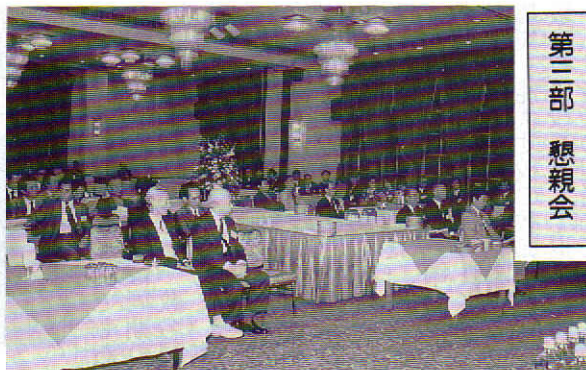


十一月一日虎の門病院で死去。早大大学院卒。昭和三五年民社党本部職員となり、組織局組織部長、市民団体対策委員会事務局局長、組織局次長などを歴任。同党の政治資金団体である政和協会事務局長も務めていた。平成元年七月の参院選では、比例区に同党の名簿登載者（十二位）として出馬した。

河田俊彦氏談：彼とは、能代中・高校在校以来の親友で、上京してからもよく飲みよく語り合いました。彼は一口に言つて「清廉一徹」汚れたことは髪の毛一筋許さないといつた気性でした。東京における同窓会は彼が中心の一人となつて発足させたものです。そのためわが同窓会に対する愛着も人一倍で、私のように飲みたくて出席するような者は「幹事会は単に飲み食いのための場所ではない」とよく叱られたものです。「大は国家の政治から小は同窓会のことまかい点にまでメクジラ立てていたら、体がいくつあつてももたんぞ。政治には清濁合わせ飲む度量も必要だと言うではないか」と、妙な忠告をして、彼の怒りをさらに煽つたこともありました。

高校時代は、冬はスキー部で、その他のシーズンには野球部で活躍し、健康には人一倍自信があつたようですが、こういう状況ですから、政治には彼のような人こそ必要だという時期です。六一歳というあまりに早い旅立ちには、誠に惜しまれてなりません。また、同期生としては寂しい限りです。心からご冥福を祈ります。

第三部 懇親会



参議院議員
佐々木 満氏 旧制十五期



乾杯の音頭

藤田成孝氏 旧制一期



ということでした、本年も乾杯の音頭を取らせて頂くことになりました。先ほど来みなさまのお話にもありましたが、今年は本当に能代高校にとっていい年でございました。甲子園から全国に鳴り響いたあの校歌は、なんと若々しくまたすばらしく聞こえたことでしょう。おかげ

さまで、まだまだ年老いてはいられない。次回甲子園からの校歌を聞くまでは頑張らなければと、気を一段と若返らせて頂きました。それでも、うまくやっついていけば、準々決勝ぐらいまではいけたのではないだろうかなどと、欲の深い繰り言に血圧をはね上げらせました。

えー、乾杯の音頭のもりが、ちよつとわき道にそれてしまいました。それではみなさまのご健康・ご活躍と母校能代高校の益々の発展を祈念し、また本日お見えの新卒のみなさんの今後のご健闘をお祈りいたしまして、乾杯したいと思います。

カンパニー！

司会：どうもありがとうございます。それは、しばらくの間ご歓談ください。

旧制十五期の佐々木満でございます。先般参議院議員選挙がございましたが、その節はみなさまに大変お世話になりました。ありがとうございます。その頃ちよつと能代高校が野球その他で、非常に盛り上がりを見せておりましたが、幸いにも私もその上昇ムードに乗せて頂きまして、おかげさまで当選させてもらいました。本当にありがとうございます。

これからも一生懸命頑張りますので、どうぞご指導のほどよろしくお願い致します。みなさん本当にありがとうございます。

司会：えー、昨年に引き続きまして、本総会は今年卒業された方々の歓迎会と言いますか、東京同窓会新加入のみなさんの顔見せを兼ねております。それでは、今年3月に卒業された新卒のみなさん、どうぞ壇の上へお上がりください。

えー、この方たちがこの度、私ども東京同窓会の一員になったわけです。

みなさん、盛大な歓迎の拍手をお願いいたします。(拍手)